

授 業 科 目 名	病 理 学	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	1年（後期）
担 当 教 員 名	山 田 真 輔	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>病理学とは病気がどうして起こるのか、その結果、体の組織がどう変化しているのかを、追求する学問です。すなわち、この講義では、人間の日常生活において具合が悪くなったときの、生理的ならびに病的現象を解説し、その基礎を学習します。この知識は、患者さんの病態像を理解し、患者さんと会話する時に、必須のものになります。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>各講義の開始時に2つの学習目標を設定します。 それぞれについて各自説明できるようになってください。</p>		
授業回数	授業内容		
第 1 回	解剖学の復習：上皮組織と結合組織の解剖学的特徴と分類について		
第 2 回	組織損傷後の反応、進行性病変と退行性病変について		
第 3 回	組織修復における炎症の発生機序と役割、急性炎症・慢性炎症と組織の癒痕化		
第 4 回	免疫の生理学的メカニズムの復習、I～IV型アレルギーの特徴と代表疾患の病態		
第 5 回	膠原病の特徴と代表疾患の病態、臓器移植と再生医療について		
第 6 回	感染症総論：病原体・感染源・感染経路・感染経過について		
第 7 回	ウイルス感染症・細菌感染症・真菌感染症の特徴と、感染症の治療と予防について		
第 8 回	充血・うっ血の特徴、浮腫の原因、出血の種類、血栓と塞栓及び梗塞について		
第 9 回	門脈循環の障害、高血圧、播種性血管内凝固症候群、ショックの症状と原因について		
第 10 回	脂質代謝と脂質異常症について、及び、アテロームの発生機序		
第 11 回	糖尿病の病態と合併症、その他の代謝異常症について		
第 12 回	DNAとセントラルドグマについて、及び細胞分裂について		
第 13 回	染色体異常症、及び、遺伝性疾患について		
第 14 回	悪性腫瘍の特徴・種類・進行度について、		
第 15 回	悪性腫瘍の発生機序・リスクと、治療方法について		
評価方法	試験にて行う（100%）		
教科書 参考図書	〔教科書〕 系統看護学講座 病理学 疾病の成り立ちと回復の促進① （医学書院）		
履修上の 留意点	学生諸子の積極的な参加を期待します。 事前準備として、解剖学・生理学の知識の整理が必要かと考えます。		
メッセージ	日常よく耳にする疾患、珍しい疾患などを事前に整理しておけば、楽しい講義になると思います。		